

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成25年度採択分）
「アジアの遺伝学を主導する学術雑誌を目指した取り組み」
（課題番号：252006）

学術団体名：日本遺伝学会
学術刊行物の名称：Genes & Genetic Systems
事業期間：平成25年度～平成29年度

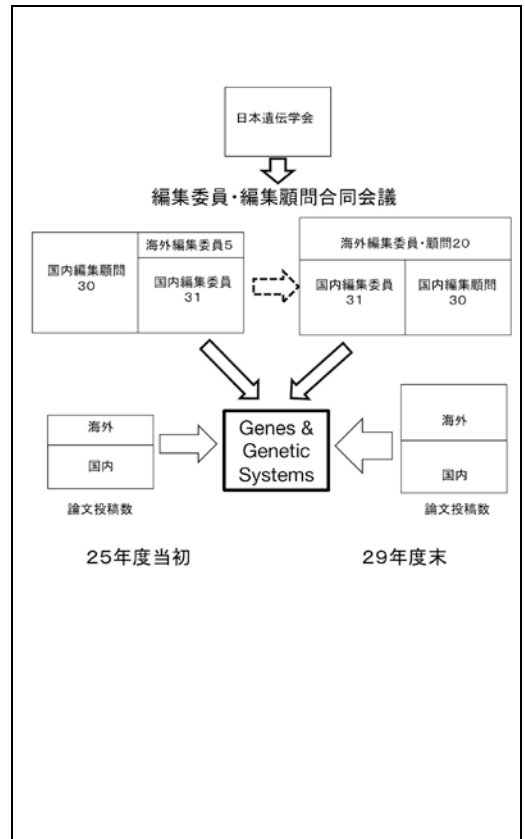
1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

日本遺伝学会誌Genes & Genetic Systemsはアジアにおける遺伝学関連の良質の論文を集め、アジアにおけるこの分野のトップジャーナルとなることを目指している。このために、アジアの各国で現在活発に研究を行っている中堅の研究者を編集委員や編集顧問として選任し、国際性を更に高めることを計画した。選任した編集委員・顧問に編集会議に出席してもらって編集プロセスにおける国際性をより高めるとともに、Genes & Genetic Systemsのオープンネスや速報性を認識してもらい、各国からの良質の論文の投稿数を増やして戴くように依頼する。またアジア各国の研究者が実質的に編集に参加することによって、Genes & Genetic Systemsが日本だけでなくアジアの遺伝学雑誌である事を認識してもらい、更に掲載する論文の英文校閲を行う。投稿数を増やし審査制度を強化することで良質の論文を多く掲載し、国際情報発信強化を行う（右図）。

・応募時に設定した取組の目標・評価指標

アジア各国から新たに編集委員・顧問を15人程度加え（評価指標）、アジア各国からの投稿数を増やす事により、総投稿論文数を50%以上増加（評価指標）させる。これにより学術的価値の高い論文を掲載して、アジアでの遺伝学分野での5-Year Impact Factorを指標としたトップジャーナルとなる事を目標とする。



2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

3年間で六カ国12人の新たな編集委員・顧問を選任し、順調にその数は増加している。編集委員の専門性・国際性も高まったことによって、編集作業の効率化と実際に出版する論文の質の向上があった。新しい編集委員・顧問には少なくとも一回編集会議に出席して議論に加わり、Genes & Genetic Systems への認識を深めてもらっている。投稿数は、右図に示すように一旦減少して52まで下がったが、その後に順調に回復してきている。

・今後の計画

アジアを中心とした国から編集委員・顧問を更に3人以上選任して、計画終了時には目標の15人以上となるようにする。編集する論文数の多い海外編集委員には複数回編集会議に出席してもらい、意見交換を行う。投稿数を増加させるためには論文公開を早める必要が有ることが、海外委員も含めて指摘されていた。そこで27年後半からJ-STAGEを使い受理された論文の早期公開を行うことにした。早期公開や編集の迅速化を行うことで、計画が終了するまでに投稿数を目標値の1.5倍に近づけることをめざす。

